

大阪市多文化共生指針（素案）について

資料6-1

目的：多文化共生社会の実現

やさしい日本語や多言語による「情報提供・相談対応の充実」、日本語指導等「外国につながる児童生徒への支援」の拡充等、人権尊重の視点はもとより、外国につながる市民は地域の一員として大阪をともにつくる担い手であり、多様性を魅力あるまちづくりにつなげるという視点で、外国につながる市民が安心して暮らせる共生社会づくりに向けた施策を充実する。

基本視点

人権の尊重

安全・安心

多様な価値観や文化の尊重

多様性を活かす

施策の方向性

情報提供・相談対応

日本語教育

外国につながる児童生徒への支援

防災

健康・医療・福祉等

多文化共生の地域づくり

【ご参考】「大阪市多文化共生指針（素案）」についてのパブリック・コメント

https://www.city.osaka.lg.jp/templates/jorei_boshu/shimin/0000494866.html